

広報たかなべ

2015. 1. 23 NO. 392

- ・新年のごあいさつ
- ・高鍋東小学校創立110周年
- ・冬の感染症を予防しよう！
- ・平成27年 高鍋町成人式
- ・不動産公売を実施します
- ・事務事業評価・外部評価を行いました
- ・染ヶ岡地区環境保全協議会
農林水産祭で内閣総理大臣賞を受賞
- ・高鍋高校ラグビー部 4年連続全国大会出場！
- ・高鍋町消防団の皆さん、いつもありがとう
- ・まちの話題
- ・わが町の宝物



1月11日 消防始式(小丸河畔河川敷運動広場)



新年のごあいさつ

高鍋町長 小澤 浩一

新年明けましておめでとう
ございます。町民の皆様にお
かれましては、希望に満ちた
輝かしい新春をお迎えのこと
と、心からお慶び申し上げます。
また、町政の推進に当たり
ましては、日ごろから、温か
いご理解とご協力を賜り、厚
くお礼を申し上げます。
さて、昨年は、広島市の土

砂災害や御嶽山の噴火など、
国内で自然災害による甚大な
被害が相次ぎ、当町でも、六
月の集中豪雨や七・八月の台
風では、床上・床下浸水など
の被害が発生しました。
そのような中、当町では、
長年の懸案事項でございまし
た防災行政無線のデジタル
化・更新を行い、町民の皆様
の不安をわずかながらでも取
り除くことができたものと考
えております。本年におきま
しても、子局をさらに追加

し、皆様の安全、安心のため
に全力で取り組んでいく所存
でございます。
また、明るい話題といたし
ましては、昨年十一月、国内
最高峰の農林水産業コンク
ル「農林水産祭」におきまし
て、染ヶ岡地区環境保全協議
会が内閣総理大臣賞を受賞さ
れました。平成二十二年から
取り組んできた「きやべつ畑
のひまわり祭り」が、今や約
一万人の観光客が訪れるイベ
ントに成長したことが高く評

価されたものであります。祭
りの開催に当たりましては、
協議会の皆様はもちろんのこと、
商工団体や建設業の皆様
も深く携わっておられ、業種
の垣根を越え、協力しあいな
がら取り組まれる姿は、当町
のこれからの明るい未来へ向
け、大変頼もしく思う次第で
ございます。
本町の地域経済は、アベノ
ミクス効果もさほど感じられ
ない中、長引く景気低迷など
により、非常に厳しい状況と
なっておりますが、このよう
な明るい話題を糧とし、「高
鍋町総合計画第五次基本構
想」に基づき、住民参画によ
る快適で美しいまち「たかな

べ」、子どもがにぎわうまち
づくりを将来像として描きな
がら、これからもさまざまな
政策課題に全力で取り組ん
まいりますので、皆様方にお
かれましては、変わらぬご支
援、ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。
年頭に当たり、本年が皆様
にとりまして、実り多き良い
年となりまして、心を衷心から
ご祈念申し上げます。新年のご
あいさつとさせていただきます。
す。



新年のごあいさつ

高鍋町議会議長 永友 良和

新年明けましておめでとう
ございます。

平成二十七年の年頭に当た
り、町議会を代表して謹んで
新年のごあいさつを申し上げ
ます。

町民の皆様におかれまして
は、新たな抱負を胸に新年を
お迎えのこととお慶び申し上
げます。また、平素より町議

会に対し、温かいご理解とご
協力を賜り、議員一同心より
御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみます
と、あの忘れもしない東日本
大震災から三年が過ぎた年で
もありません。議会の行政調
査において岩手県陸前高田市
の復興状況などの研修に行っ
てまいりましたが、目の前に
広がる景色は、とても言葉で
は言い表せないほど散々な被
害状況でした。国も全力を挙

げて復興に取り組んでいま
すが、まだまだ時間がかかると
いうのが、率直な感想であり
ました。

地震や津波などによる災害
対策が進められる中、昨年
は、全国的な大雨による被害
が後を絶ちませんでした。本
町におきましては、床下・床

上浸水、道路の崩壊など大き
な爪痕を残しました。私たち
議員も被害状況や今後の対策
などにしっかりと目を向けなが

ら、一日も早い復興に向けて全
力で取り組んでまいりたいと思
います。

さて、昨年十一月には町議会
議員選挙、十二月には衆議院議
員総選挙、そして宮崎県知事選
挙と皆様におかれましては、年
末になつての三つの選挙で大変
慌ただしい日々を送られたので
はないかと思えます。

町議会議員選挙では、皆様に
大変お世話になりました。私た
ち議員も新しい四人のメンバ
ーを迎え、新体制をスタートさ
せました。

議員一人一人が新たな気持ち
で皆様の思いを胸に、皆様の声
を町政に届け、反映できるよう

全力で取り組んでいく所存で
あります。

今後とも町民の皆様への温
かいご支援とご指導をお願い
申し上げますとともに、本年
が穏やかな良い年になります
よう、皆様のご健勝とご繁栄
を心よりお祈り申し上げます。
新年のごあいさつといたしま
す。



新しい町議会議員を紹介します

平成26年11月16日、任期満了に伴う高鍋町議会議員選挙の投票が行われ、即日開票の結果、新議員16人が決定しました。

(◎議長、○副議長、
写真は議席順、敬称略)

	当日有権者数	投票率
男性	7,894人	54.52%
女性	9,268人	57.01%
合計	17,162人	55.87%



池田 堯 (5期)
道具小路東



水町 茂 (8期)
小丸上



山本 隆俊 (5期)
坂本



津曲 牧子 (2期)
菖蒲池西



岩村 道章 (1期)
中鶴



岩崎 信や (3期)
中町



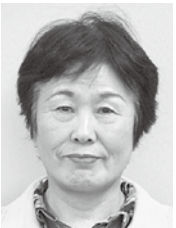
青木 善明 (2期)
十日町



柏木 忠典 (9期)
蚊口西の一



後藤 正弘 (1期)
中尾



中村 末子 (7期)
正ヶ井手



黒木 博行 (1期)
御屋敷



黒木 正建 (6期)
蚊口下



春成 勇 (2期)
樋渡



八代 輝幸 (4期)
西平原



◎緒方 直樹 (3期)
道具小路西



◎永友 良和 (2期)
家床

高鍋東小学校 創立一一〇周年

昨年、高鍋東小学校が開校してから一一〇周年を迎えました。

東小は、高鍋藩第七代藩主秋月種茂公が安永七（一七七八）年に現在の高鍋農業高等学校の地に「明倫堂」を創設、明治三十七（一九〇四）年に高鍋尋常小学校として現在の場所に新築・移転されました。その後、昭和二十一（一九四七）年に校名が高鍋東小学校に変更となり、今日に至ります。

東小は、本町の長い歴史の中で、明倫堂の教えを受け継ぐとともに、東小ならではの伝統を創りあげてきました。昭和三十三年のピーク時には、二千人を超す児童が在籍し、県内でも有数のマンモス校でしたが、現在では少子化の影響もあり、約六百人の児童が在籍。ピーク時の児童数と比較すると、約七割減少していますが、子どもたちは、県内一広い敷地を持つ学校で、毎日、元気にのびのびと勉強や運動に励んでいます。

十一月三十日、東小で創立一一〇周年



大正初期のころの高鍋東小学校



現在の高鍋東小学校



記念式典の中で行われたタイムカプセル封印の様子。中に入れられた全校児童や保護者、地域の方の手紙は、それぞれの宛名に10年後郵送される

を祝う記念式典が行われ、これまで歩んできた歴史を振り返るとともに、これからも子どもたちの学び舎として成長を続けていくことを誓いました。第三十九代目となる千田洋一郎校長はあいさつの中で「旭日章」をモチーフに作られたと言われる校章について触れ、「光り輝く一流の人になって欲しいという願いと社会を明るく照らす人になって欲しいという願いが込められている」と話し、自分の夢に向かって努力する大人に成長して欲しいという思いを伝えました。また、町の小中学校が取り組んでいるコミュニケーション・スクールについても触れ、「地域のつながりが密接になってきたように感じられる。これからも地域全体で子どもを育てる学校づくりに取り組んでいきたい」と話しました。

この日、式典に続き、東小出身で現在、UMKテレビ宮崎で活躍する岩下克樹アナウンサーによる講話が行われ、困難なことがあっても、夢をあきらめずに前進することの大切さを子どもたちに伝えました。

これからも、歴史と伝統を守りながら、地域とともに魅力溢れる東小を築いてくれることと思います。

冬の感染症を 予防しよう！



冬はウイルスや細菌による感染症が流行するシーズンです。ウイルスに負けない健康な体を維持するために、日ごろから次のようなことに気を付けましょう。

冬に流行する主な感染症には、感染性胃腸炎やインフルエンザなどがあります。

感染性胃腸炎は、感染力が非常に強く、患者の便だけでなく、嘔吐物にもウイルスが排出されるため、人から人へ接触感染するほか、ウイルスに汚染された食品を食べることで感染してしまう、とても厄介な病気です。

また、インフルエンザは、風邪よりも症状が重く、気管支炎や肺炎を併発したり、脳炎や心不全になることもあります。感染性胃腸炎と同じく、強い感染力を持ち、一度流行すると多くの人に短期間で感染が広がるため、健康被害を与えるだけでなく、経済や社会活動にも大きな影響を及ぼすことがあります。

これらの感染症以外にも、RSウイルスやマイコプラズマ肺炎、溶連菌感染症などがありますが、感染症にかかると、特に抵抗力の弱い乳幼児や高齢者は、重症化する恐れがあります。日ごろから、自分自身でできる「予防のポイント」に注意して、早めの対策で冬の感染症を予防しましょう。

インフルエンザ

インフルエンザウイルスの感染が原因です。咳やくしゃみで飛び出たウイルスを吸い込んだり、手についたウイルスが目や鼻、口などの粘膜から体内に入ることによって感染します。

●症状

38℃以上の発熱や全身症状（頭痛・関節痛・筋肉痛など）、局部症状（のどの痛み・鼻水・くしゃみ・咳など）が急激に発症します。



●予防策

- 人込みを避けて、外出する際にはマスクを着用しましょう。
- 帰宅後は手洗い・うがいをしましょう。
- 室内では適度な室温（50～60%）を保ち、十分な栄養と睡眠をとりましょう。



感染性胃腸炎

主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。冬に多いのは「ノロウイルス」、「ロタウイルス」などがあります。

●症状

- ノロウイルス：吐き気・嘔吐・下痢・腹痛・発熱（38℃以下）など。1～2日程度持続。流行期間は11～1月で乳幼児から成人まで幅広く発症します。
- ロタウイルス：嘔吐・下痢・腹痛・発熱（38℃以上）など。5～6日程度持続。流行期間は2～4月で乳幼児に多く発生し、便が白くなることもあります。



●予防策

●加熱

ノロウイルスは食品からの感染が考えられますので、食品中心部分の温度が85℃以上で1分以上加熱しましょう。

●手洗い

調理や食事の前、トイレの後などは必ず手洗いをしましょう。下痢や嘔吐などの症状がある時は、調理を控えましょう。

●消毒

塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）が有効です。調理器具はよく洗ってから、塩素系漂白剤で消毒すると効果的です。

●汚物（便や嘔吐物の処理方法）

1. 片づける前に、使い捨てのマスクと手袋、エプロンを身につけ、換気のために窓を開けます。
2. ペーパータオルなどで汚れの外側から内側に、汚物が飛び散らないように静かに拭き取ります。
3. 拭き取った汚物や汚れたおむつなどは、すぐにビニール袋に入れ、きちんと縛って捨てます。
4. 汚染された場所は、消毒液を浸した布などで拭き、10分程度経ったら水拭きをします。

消毒液を作ってみよう！

台所用塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）を原液とした場合～

汚染がひどい場所用（0.1%）★嘔吐物や便がついた床、衣類など

500mlのペットボトルに水を入れ、キャップ2杯（5ml×2＝10ml）の漂白剤を加えます。

通常のお掃除用（0.02%）★調理器具やドアノブ、手すりなど

2Lのペットボトルに水を入れ、キャップ2杯（5ml×2＝10ml）の漂白剤を加えます。

【注意】

作る時は、ビニール手袋などを使用し、原液が目や皮膚、衣服などにつかないように注意しましょう。

予防の基本をチェック！

●手洗い

感染症は「手」を介して体内に侵入することが多いと言われています。ドアノブやトイレなどは、ウイルスが付着している可能性が高く、ウイルスの付いた部分を触った手で、自分の眼や鼻、口を触ったり、食事をしたりすることで、ウイルスが体内に侵入してきます。

感染症を予防するためには、頻繁に手洗いを行うことが何より大切です。

手洗いを行う際は、次のようなことに注意しましょう。

- ・外出やトイレの後、調理や食事の前、嘔吐物を処理した後は必ず手洗いをしましょう。
- ・爪は短く切って、手洗いの前には時計や指輪をはずしましょう。
- ・泡立てた石けんで指先から手首まで丁寧に洗い、流水でよくすすいで、清潔なタオルでしっかり水分を拭き取りましょう。



※汚れが残しやすいところ

- ① 指先や爪の間
- ② 指の間
- ③ 親指の周り
- ④ 手のひら
- ⑤ 手首



●咳エチケット

咳やくしゃみには、ウイルスが含まれているかもしれません。次のような咳エチケットを心がけ、感染の拡大を予防しましょう。

周囲の人からなるべく離れる



咳、くしゃみをするとウイルスが2m～3m飛ぶと言われています。咳、くしゃみが出そうになった時は、周りの人から顔をそむけて、できれば1m以上離れるよう心がけましょう。

鼻と口を覆う



咳やくしゃみが出そうになった時は、周囲にかからないよう顔をそらせ、ティッシュなどで口と鼻を覆います。手で直接覆った場合、手にウイルスが付着しているので、石けんでよく手を洗いましょう。

すぐに捨てる



鼻水や痰などが付着したティッシュはフタ付きのゴミ箱に捨てるか、ビニール袋などに入れて縛って捨てましょう。

マスクを着用する



鼻と口の両方を確実に覆うようにし、鼻からあごの下まで隙間がないように着用します。マスクの使用は、説明書を読んで正しく着用しましょう。

病気に負けない体をつくろう！ ～免疫力を高めるために～

規則正しい生活は、免疫力を高めるのに大変効果的です。免疫力を高めると感染症を予防するだけでなく、生活習慣病などを予防することにもつながります。

日ごろから次のようなことに気を付け、病気に負けない体づくりをしましょう！

1. 適度な運動を行う

ウォーキングやラジオ体操などの有酸素運動は、自律神経の働きを整え、免疫力を高め、丈夫な体を作ります。

高鍋町には、健康づくりセンターにプールが併設されています。膝や腰に負担のかからない水中運動は免疫力アップにお勧めです！



2. 質の良い睡眠をとる

眠れない時でも、目を閉じて体を横にして休んでいるだけで、免疫力は高まると言われています。また、昼寝など10～20分の短い睡眠も疲労を回復させるとともに、免疫力を高めてくれます。

3. バランスの良い食事で免疫力をアップさせよう

1日3回の主食（ごはん・甘くないパン・麺類など）、主菜（肉・魚・大豆製品など）、副菜（野菜）がそろったバランスのよい食生活を心掛けましょう。



4. ストレスをためない

ストレスで自律神経の働きが乱れることがあります。趣味など楽しいことでストレスを解消しましょう。

※感染症によっては、予防接種によって重症化を防げるものもあります。自らの健康、そして家族の健康を守るため、適切な時期に予防接種を受けましょう。

